

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

精神科作業療法



8月25日に精神療養病棟で夏祭りを開催しました。昨年はコロナの流行により開催を中止したため、2年ぶりの夏祭りとなりました。

今年の夏祭りでは、看板や出店のゲーム類も新たに製作し、患者さんに喜んでもらえるよう工夫を凝らしました。また、数年ぶりのかき氷の提供に、「冷た〜い」「おいしい!」と笑顔でかき氷を頬張る患者さんがたくさんおられました。

各種出店を楽しんだ後は、フィンランド発祥の、棒を投げて倒したピンの点数を競う『モルック』というスポーツを模した、病棟対抗のゲームを実施しました。初めてのゲームにハラハラドキドキ、大盛り上がりでたくさんの声援が会場に響きました。スタッフチームも大健闘しましたが、精神療養病棟チームのミラクルショットの前に惨敗でした。

最後は『九州炭坑節』をかけて皆で盆踊りをしました。普段はあまり積極的に動かない方も、音楽を聴いているうちに自然と身体がリズムを刻み、最後は大きな輪になって踊りました。

↑患者さんによる夏祭りの題字。とても綺麗です。



↑初体験のモルック。

各チームから、熱い声援があがります!

認知症治療病棟

8月31日には認知症治療病棟でも夏祭りを開催しました。今年は金魚すくい、輪投げ、射的を用意し、縁日風にしました。患者さんは、それぞれ各種ゲームを順番に回って楽しまれました。どのゲームも笑顔で楽しむ方、真剣な眼差しで的を狙う方、意外な器用さを発揮して水槽内の金魚を全て掬ってしまう方等、普段はなかなか見ることのできない表情を、たくさん見せて頂きました。

夏祭りの締めは、盆踊りです。力自慢のスタッフが、患者さんの目の前まで大太鼓を担いで持っていくと、思わず『ドンドン!』と力強くバチを振る患者さんがおられました。男性も女性も童心に返って、笑顔いっぱいです。そんな素敵な表情をたくさん見ることが出来て、スタッフもより一層パワーを頂けたイベントとなりました。



大太鼓を目の前にして、お祭り男の血が騒ぎます!

追悼会

当院では、この一年間入院中に亡くなられた方のご冥福をお祈するため、毎年8月のお盆の時期に追悼会（ついで）を開催しております。8月17日に浄土真宗本願寺派真宗寺より1名来院いただき、読経による供養とその後、参加者による焼香及び、仏教賛歌にてご冥福をお祈りいたしました。

亡くなられた患者さんの事を偲びながら、それを胸にこれからもスタッフ一同、より良い精神科医療の実現に向けて精進してまいります。

今日

1日！ナース体験！

看護協会主催の「1日ナース体験」を、今年も8月7日に開催いたしました。中学生・高校生を対象に夏休みに開催され、防府市内外より毎回、数人の応募者が当院にあります。今年も、2名の中学生が参加しました。看護部長より「精神科看護の魅力」や「看護とは」の講義後、精神科デイケアにて、地域で暮らす精神障害の方との交流を行いました。体験後、「患者さんと一緒に楽しむ看護師さんの仕事もあるんですね」と、精神科看護に少しふれられた、感想が聞かれていました。

→ デイケアで、うちわを手づくり。



非常食訓練

9月1日の防災の日は、毎年非常食を食べています。当日の設定は『災害発生の為ライフラインが止まっている。栄養課スタッフも出勤できない』です。そのため、各病棟のスタッフはエレベーターを使用せず、階段で必要物品を運びます。病棟に戻り、食品をパウチからプラスチックの器へ盛り付けたり、お茶の代わりにペットボトルの水を使用し、トロミのある水分を作ったり、慣れない手つきながら丁寧に行うよう注意し実施しました。

災害は突然やってきます。今回の訓練を活かせるよう病棟内で情報共有していきます。

← 非常食を用意しております。



編集後記

今年の夏、「今日も本当に暑いですね」と皆さんは、何回言われましたか？ 気温 40℃と言う数字は、あまり聞かれなかったですが、猛暑日がうんざりするほど多かったですね。暦では秋なのですが、インフルエンザと新型コロナが同時流行し始めています。感染症対策を改めて、心がけましょう。